

## 特記仕様書

## 1 放射線障害防止措置について

請負者は、「東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」（平成 23 年厚生労働省令第 152 号）に基づき、除染等業務従事者又は特定線量下業務従事者に対し適切に放射線障害防止措置を講じなければならない。

## 2 CSF 感染拡大防止対策について

CSF（豚熱）の感染防止拡大のため、栃木県における CSF 対策を熟知して適切な対策に努めること。

## 地拵特記仕様書

作業種	作業仕様	適用林小班等
全刈地拵	植幅 0.5m以上 置幅 2.1m以内	74か、74よ1
全刈地拵	植幅 0.5m以上 置幅 1.7m以内	75わ1

(注) 寸法の単位は、m以下1位（10cm単位）とする。

## 植付特記仕様書

### 1. 「スギ特定苗の普及促進に向けた生産協定」の苗木の使用について

(1) 本事業の一部においては、「スギ特定苗の普及促進に向けた生産協定」に基づく苗木を使用するので、協定者より苗木を購入すること。

なお、協定内容や苗木の納入方法等については以下のリンク先から確認すること。

[掲載先] (ページ下部に掲載)

<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/keiri/sekisan.html>

(2) 協定苗の植栽時期は、令和7年度春期(概ね4月から7月)とし、天変地異その他やむを得ない事由がある場合を除き、これ以降の時期に持ち越すことはできない。

(3) 請負者は協定者と納入時期、場所等について連絡・調整を図ることとし、請負契約の円滑な遂行に努めること。

### 2. 苗木の仕様

樹種	区分	長さ	根元径	コンテナ容量	摘要
スギ特定苗 (協定苗)	コンテナ苗	35 cm上	3.5 mm上	300 cc	協定者から購入 (5,000本)
スギ (少花粉)	コンテナ苗	40 cm上	4.0 mm上	150 cc	(8,450本)
コウヨウザン	コンテナ苗	40 cm上	4.0 mm上	300 cc	栃木県山林種苗緑化樹 協同組合から購入 (550本)

(注) 必要な樹種について記載する

定められた配布区域内とするが、産地は指定しない。

### 3. ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

樹種	ha当たりの 植付本数 (本)	苗木の植付間隔(水平距離)		適用林小班等
		列間 (m)	苗間 (m)	
スギ特定苗 (協定苗)	1,500本	2.6m	2.6m	74か、74よ1
スギ (少花粉)	1,500本	2.6m	2.6m	74か
	2,000本	2.2m	2.2m	75わ1
コウヨウザン	1,500本	2.6m	2.6m	74か

(注) 寸法の単位は、m以下1位(10cm単位)とする。

### 4. 現地での苗木保管

(1) 原則3~4日程度となるよう計画的に調達を行い、蒸れ・乾燥に細心の注意を払うこと。また、野生鳥獣による食害を受ける地域は、その対策を講ずること。

# 忌避剤散布特記仕様書

## 1 薬剤の性質

(1) 性状 類白色水和性粘調懸濁液体

(2) 有効成分 ジラム（白色粉末）32% ジンクジメチルジチオカーバメイト

(3) 効果

ア ノウサギ・カモシカ・ニホンジカに忌避効果が認められる。

イ 薬剤は散布後3時間程度で素早く乾燥、また付着性にも優れ、降雨による流出が無く散布した部分の食害を長期にわたって防止する。

ウ 味覚刺激による食害減退効果がある。

(4) 安全性

ア 毒物分類 普通物（劇物、毒物、特定毒物に該当しないもの）

イ 魚毒性 C類

散布された忌避剤が河川湖沼海域及び養魚場に飛散または流入するおそれのある場所では使用せず、これらの場所以外で使用する場合も、一時に広範囲に使用しない。散布に使用した器具及び容器を洗浄した水、使用残りの薬液並びに使用後の空き袋は、河川などに流さず地下水を汚染する恐れのない場所を選び土中に埋没するなど安全な方法で処理する

## 2 忌避剤の散布内訳

対象 植栽木 樹種名	適用 害獣名	原液量 (ℓ)	希釈倍率 (倍)	散布面積 (ha)	植栽木 本数 (本)	植栽木 1本当たり 散布量 (mℓ)	総散布量 (ℓ)	対象 林小班等	備考
カラマツ	ニホンジカ、 カモシカ、 ノウサギ	33.00	3	1.65	3,300	30	99.00	341 は 1	散布2回

## 3 忌避剤の散布部分

植栽木の梢頭部と主幹に散布を行う。

## 4 その他

仕様書等に定めのない事項については、監督職員の指示による。